



今こそ貯蓄から投資へ! 押さえておきたい投資の勝ちパターン!

こんにちは。ファイナンシャルプランナーの中澤です。
昨今ふたたび政府が「貯蓄から投資」と言い始めています。

およそ2年前に、厚切りジェイソンさん著書「お金の増やし方」が大ヒットしました。

その後、その本を読んで投資を始めた人たちを中心に大炎上し、X（旧Twitter）アカウントが閉鎖されました。

何故また投資が注目されているのか？投資するなら絶対に抑えておかなければいけないポイントと注意点は？

今回はそのあたりを解説します。

物価上昇率2%

昨日、貯蓄から投資へと言われている大きな理由が物価の上昇です。

約2%という今の物価上昇が仮に10年続いたとして、まったく金利が付かない場所に1000万円置いておいたら、10年後にはその1000万円を使っても、今の817万円くらいの物しか買えません。20年後には667万円、30年後には534万円です。

つまり、**今の金利と物価の中で老後までお金を置いておくと、お金の価値は半分くらいになる**ということです。

よって、何もしないことはプラスマイナス0ではなく、マイナスなのです。

なので、少しでも早い段階で「貯蓄から投資」に回すことでは資産を長く育て、守っていく考えが必要なのです。

老後2000万円問題のリスク

少し前に炎上した老後2000万円年金が足りなくなる問題。夫婦で年金を22万円貰い、税金等含め月に30万円使うとした時、毎月8万円の赤字になります。

ここで2点重要な事があります。

1つ目は、人生100年時代と言われており、ますます医療が進歩し、平均寿命が伸びていくことが予想されます。

65歳から95歳までの30年間で掛け算をすると、**2880万円足りなくなり、約3000万円足りない**のです。

2つ目は、先にも述べたように物価は上がり続けており、今は2・3000万円足りないと言われている年金ですが、30年後には物価が倍になると考えると、単純計算で**約6000万円**足りなくなります。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談
- etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

その時に気付く不安と備え方

人生の三大支出と呼ばれる「住宅費」「教育費」「老後の生活費」の中で、唯一老後のお金に関してはローンが組めず、現役世代に貯めた貯蓄が何十年もの間減り続けていく人生を歩むことになります。

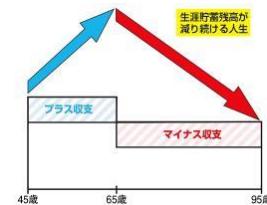
なかなか過酷そうな世界ですね。

そのため、「貯蓄から投資」なのです。

老後も資産を運用し続けることで、生涯資産の寿命を延ばしながら

必要な分だけ取り崩して生活をする。

そんな仕組み作りが必要とされています。



投資の注意点とは？

勝ちパターンはとにかく続ける事！

厚切りジェイソンさんの著書を読んだ人たちが大炎上したのは、本を読み、軽いノリで投資を始めた人たちが、当時20%以上の株価暴落に焦ったのでしょう。

いつもお伝えしているように、入り口でちゃんと知識を持っておけばマイナスを気にする必要はありません。

メディアはネガティブな事ばかり言いますし、担当もいない、誰にも頼れない人たちが不安になり、大炎上したのでしょう。

特につみたてNISAやiDeCoに多いのですが、流行りに流されたり、軽いノリで始めた投資は軽いノリで辞めてしまします。

この記事を書いている2024年8月2日、まさに1987年10月に起きた世界的な株価暴落となったブラックマンデーに次ぐ、史上2番目の下げ幅となりました。

投資信託において成功体験が少ない上に担当者がいない日本人の中で、正しい判断をくだしながら長期間の運用をし続けられる人がどれくらいいるのでしょうか？

2010年から続く右肩上がりのインデックス市場に、いよいよほころびが出始めております。

ある程度の乱高下があってもそのリスクを受け入れながら投資を続けるためには、目的を設定し、アドバイザーをつける。

場合によっては乱高下に強く、本当の意味で安定した優良なアクティブラボをを選ぶ。

そのような仕組み作りから投資を考えしていく事が必要なのでしょうか？

著　者／中澤 賢一
保有資格／クレジットカードアドバイザー®**←NEW**
投資診断士 相続診断士
ファイナンシャルプランナー
M A I L / fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
T E L / 080-7359-4129